

通訳案内士試験道場 韓国語で学ぶ地理⑥中部解答

軽井沢

- ①そよ風がふき春の息吹が感じられる季節
- ②有機農法で作った/オーガニックの野菜を食べ、スポーツやヨガをするなどロハス的/健康志向の生活を送る避暑客
- ③ピーピーさえずる鳥など、手つかずの自然の中でキャンプする客もいる。
- ④寝付けない(寝苦しい)日々
- ⑤すやすや眠れることだろう。
- ⑥雑木林や草むら
- ⑦霜が降りたり樹氷になる季節なら、アイススケートをしたりスキーをしたりする人も多い。
- ⑧旅館が集まる宿場町として栄えた。
- ⑨桑畑
- ⑩日本政府が招へいしたお雇い外国人たち
- ⑪ロマンティックな軽井沢に憧れて
- ⑫庶民たちには「高貴なお方(お偉いさん)」だけが行くという、以前は敷居の高かった別荘地
- ⑬ポプラとモミノキ、シラカバ等
- ⑭朝もやの中、どこからか郭公の鳴き声やキツツキの音が聞こえてきた。
- ⑮ツタの絡まるブナの木にとまっているアゲハ蝶。それを襲おうとねらっているカマキリ。巣から顔を出すミツバチやスズメバチ。くもの巣にかかった TENTウムシ。あちこちではねまわるリス。そして空を飛ぶ鷹など。
- ⑯日帰りで帰る女性たち

金沢

- ①豪雪地帯にもかかわらずコメの生産量/石高百万石
- ②染物に織物など、本場京都も顔負けな(しのぐ/ひけをとらぬ)ほどの水準
- ③初雪がちらつくある日、牡丹雪で雪化粧した(白く覆われた)金沢を訪れた
- ④生け垣を刈り込み(手入れし)、くねくね曲がった水路と築山を配置した兼六園
- ⑤風炉に置かれた釜から吹き出る湯の沸く音が室内にしんしんと響いた。
- ⑥落ち着いた話しぶり/口調でいう。
- ⑦床/座敷より若干高くした客間の床の間にかける掛け軸
- ⑧行き届いた(きめ細やかな)サービス/おもてなしで知られる料亭
- ⑨私に恭しく(丁重に)深々とお辞儀し挨拶する。
- ⑩女将はただおしとやかでかいがいしいだけでなく

- ⑪障子にはガラスがはめられており、
- ⑫雰囲気に合わせて作られた部屋で、まず温かいおしぼりで手をふいた。
- ⑬コリコリした歯触りの（噛みごたえある）ナマコや赤貝、コハダの酢漬け、揚げ出し豆腐、クズの根、春菊など、旬の食材をあしらった料理はなかなか食べごたえがある。
- ⑭真心を込めた味と細やかなもりつけ
- ⑮米どころだけに、白いご飯とこくのある酒がうまいのは言うまでもない。
- ⑯塗り物と鮮やかな色の焼き物などが一つになってごちそうを一層引き立てる。
- ⑰ロクロで形作り、素焼きと絵付けにいたるまで、すべて手作業で、
- ⑱赤、朱、黄、緑、青、紺、紫の虹色を大胆に使うのが特徴
- ⑲もうじき枝に綿雪がつもり、軒先にたくさんのつららがずらりと（鈴なりに）ぶら下がる本格的な冬を迎える。
- ⑳寒くて指（手）がかじかむが

佐渡

- ①トキ
- ②大物をつろう（仕留めよう）と釣りざおに浮き、餌、網など入ったカバンを担ぐ釣り人たち
- ③アジやキスなど、グイッあたり（引き）がしょっちゅうくるだけでなく
- ④磯ではサザエ、アワビなどの貝類
- ⑤大漁/入れ食い
- ⑥引潮になるとアサリやハマグリなどの潮干狩りもできる。
- ⑦ハマナス、ユリ
- ⑧手のひらで直接打ちならず鼓や笛などに合わせて演ずる仮面劇
- ⑨お金もかかり、富裕層だけが鑑賞する舞台芸術の集大成
- ⑩シネコン
- ⑪権力闘争に敗れて都落ちした貴族たちが、ここに島流しにあったので、
- ⑫ 第一土曜日
- ⑬役者たちも所詮（どうせ）亜流（まねごと）の域を出ないなどと侮ってはならない
- ⑭プロから太鼓判を押される（お墨付きな）ほどうまいのだ。
- ⑮まつげや親指まで、生き生きとあやつり人形を動かす彼らはプロにも引けを取らない（プロ顔負けだ）。
- ⑯名もなき罪人（囚人）たち
- ⑰坑内から湧き出た水をくみ出すなど、過酷な作業
- ⑱1989年に閉山したが、
- ⑲金の露天掘りの跡

富士登山準備編

- ①「牛にひかれて善光寺参り(旅は道連れ)」
- ②リュックにはコンパス(方位磁石)、ステンレス製マグカップ、懐中電灯に下痢止、のど飴など準備万端だ。
- ③曇り時々雨
- ④しあさってまで待てば
- ⑤荷物を背負い照り付ける(灼熱の)太陽のもと、猛暑の東京を抜け出し
- ⑥四十名ほどの参加者のなかには富士山を制覇しようとバイク便でバイト代をためて来日した南アの大学生や、八十歳のお年寄りまでいて、
- ⑦絶好の登山日和で 駐車場に停める場所もないほど登山客が多く、私はこの人混みをぬけだし、まず手荷物預かり所で荷物を預けた。
- ⑧丸首のTシャツのうえにダウンジャケットをきて、
- ⑨つま先から足首、くるぶしまで覆う登山靴
- ⑩タフ/屈強な/たくましい感じの20代男性ガイド
- ⑪エイエイオー!と叫んでから
- ⑫通信が途切れ/圏外になった
- ⑬小道で懸命に/けなげに咲く花を横目に、
- ⑭「ポイ捨て禁止」
- ⑮「かくれんぼ」
- ⑯雨雲一つない快晴で、うっすらと山小屋が見えるほどだ。
- ⑰その程度なら朝飯前だと思ったが、結果的にそれも早合点(思い込み/取らぬ狸の皮算用/あまく見ていた)にすぎなかった。
- ⑱私は裂きイカを食べながら
- ⑲横(脇)腹が多少痛くなってきたが、まだ足取りは軽快そのものだった。
- ⑳濃霧注意報はなかったが急に山のふもとを霧が覆い始め、息を切らして(あえぎあえぎ)道を急いだ。
- ㉑ぎゅうぎゅうづめの部屋にごろ寝(雑魚寝)せねばならず、私は発泡スチロールのマットの上で毛布をかけて、腕時計も外さないまま寝た。
- ㉒熟睡できぬまま寝ぼけ眼で
- ㉓みんな目にクマができていた。
- ㉔寒くて歯ががちがちふるえ、吐く息が白く見えるほどだった。
- ㉕忘れ物(落し物)がないように再確認してから、気合を入れて(気を引き締めて)

富士登山高山病編

- ①晴れのち曇り
- ②花も草も消え、また「急いては事をし損ずる」というが、もともと鳥目だった私は

足元がよく見えず、溶岩と砂利に足を取られた。

③足もむくんでいた。

④弱り目に祟り目（泣き面に蜂）で、一リットルもあった水も底をつき、ついには後れを取りはじめた。

⑤意地になり歯を食いしばって登ろうとしたが、目がかすみ、まぶたもぶっくりはれていたの目薬をさしてウェットティッシュで顔を拭いた。

⑥すたすた（大股に）歩く同行者の足手まとい（お荷物）になりたくなかったので

⑦ふらふらめまいがしながら

⑧消印を押した絵ハガキ

⑨風がビュービュー吹いてきて汗がひきはじめると同時に寒気がしだし、「ハックション！」と立て続けにくしゃみをした。

⑩いやはや、カップラーメン一つ900円とは吹っかけられ（ぼったくられ）ているようで腹が立ったが、送料も含まれていると自分を納得させた。

⑪まぶしい日の光が暗闇を突き破って、日が登り始めた

⑫はっとする/目が覚めるようなそのご来光にジーンときた。

⑬ハイタッチしたりしていた。

⑭ひとかた（なみなみ）ならぬ感激を受け

⑮朝露が消える前に我々は気を取り直し

⑯太陽がかんかん（ジリジリ）と照り付け、空気の薄い山頂にいたため、数分後、後頭部もずきずきと痛くなり、疲労が極限（極度）に達し、吐き気までしてきた。

⑰しかも船酔いのように気分が悪くなり、息切れがし、汗がとめどなく流れだした。

⑱あれこれ考える暇もなく、下山したほうが良いと思って、猛スピードで転がるように山頂をあとにして下りてきた。

⑲山の天気は変わりやすいとはいうが、新宿に戻るバスにのるやいなや空が荒れ模様になり、雨がざあざあ降り始めた。

⑳写真写りがいい（写真映えする）

韓国語で学ぶ日本⑥中部 単語表現帳 氏名

①そよ風/春の息吹/②ロハス的生活/③手つかずの自然	
③キャンプ客/④寝付けぬ日々/⑤すやすや眠る/	
⑥草むら/⑦霜が降りる/樹氷/スキーをする	
⑧宿場町として栄えた	
⑨桑畑/⑩招聘/お雇い外国人	
⑫お偉いさん/敷居が高い/⑬ポプラ/モミの木/白樺	
⑭朝もや/カッコウ/キツツキ/⑮ツタの絡まるブナの木	
⑮アゲハチョウ/カマキリ/蜂の巣/ミツバチ/スズメバチ	
⑮クモの巣/テントウムシ/リス/タカ⑯日帰り	
①豪雪地帯/百万石/②織物/京都も顔負けの水準	
③初雪がちらつく/牡丹雪で薄化粧した金沢	
④生垣を刈り込む/築山/⑤風炉/⑥落ち着いた話しぶり	
⑦床の間 (20 字前後の韓国語で説明)	
⑧行き届いたサービス/⑨私に恭しく深々とお辞儀した	
⑩女将/おしとやか/かいがいい/⑫おしぼり	
⑬こりこりした歯触りのナマコ/赤貝/コハダの酢漬	
⑭真心込めた味/⑮米所/コクのある酒/言うまでもなく	
⑯塗り物/焼き物/ごちそうを一層引き立てる	
⑰ろくろ/素焼き/絵付け/手作業/⑱もうじき	

①⑨軒先につららがずらりとぶら下がる/②⑩手がかじかむ	
①トキ/②大物をつる/釣竿/浮き/（釣り用の）餌	
③アジ/キス（魚）/引きがある/④磯/サザエ	
④アワビ/⑤入れ食い/⑥引き潮/アサリ/ハマグリ	
⑦ハマナス/ユリ/⑧つづみ	
⑨金がかかる/舞台芸術の集大成/⑩シネコン	
⑪権力闘争に敗れる/都落ちした貴族/島流し	
⑫第一土曜日/⑬役者/どうせ真似事の域を出ない/悔る	
⑭プロから太鼓判を押される/素人離れした/⑮まつげ	
⑮生き生きと操り人形を動かす/プロ顔負けだ	
⑯罪人/過酷な/⑩閉山/⑱金の露天掘りの跡	
①旅は道連れ/②方位磁石/ステンレス/マグカップ	
②懐中電灯/下痢止め/のど飴/③曇り時々雨	
④しあさって/⑤灼熱の/猛暑/⑥制覇/バイク便	
⑥バイト代/南ア/八十歳/⑦絶好の登山日和/人ごみ	
⑦手荷物預かり所/⑧ダウンジャケット/⑨つま先	
⑨足首/くるぶし/⑪エイエイオー!/⑫圏外になる	
⑬小道/⑭ポイ捨て禁止/⑮かくれんぼ/⑯うっすらと	
⑯山小屋/⑰朝飯前/とらぬ狸の皮算用/⑱裂きイカ	
⑱横腹/足取りは軽快そのものだ/⑲濃霧注意報/	
⑲あえぎあえぎ/⑳蛇口/㉑ぎゅうぎゅう詰め/雑魚寝	

②②発泡スチロール/腕時計をはずす/②③熟睡/寝ぼけ眼で	
②④クマができる/②⑤歯ががちがちふるえる/②⑥落し物	
②⑥気を引き締めて	
①①晴れのち曇り/②②急いては事をし損ずる/鳥目/	
②②砂利に足を取られる/③③足がむくむ/④④泣き面に蜂	
④④底をつく/後れを取る/⑤⑤意地になる/歯を食いしばる	
⑤⑤目がかすむ/まぶたがぷっくり腫れる/目薬をさす	
⑤⑤ウェットティッシュ/⑥⑥すたすた歩く/足手まとい	
⑦⑦ふらふらする状態/⑧⑧消印/⑨⑨風がビュービュー吹く	
⑨⑨汗が引く/寒気がする/はっくしょん! ⑩⑩いやはや	
⑩⑩カップラーメン/吹かけられる/送料/⑪⑪日が登る	
⑫⑫はっとするようなご来光にジーンときた。	
⑬⑬ハイタッチ/⑭⑭ひとかたならぬ感激/⑮⑮朝露が消える/	
⑮⑮気を取り直す/⑯⑯日差しがじりじり照り付ける	
⑯⑯後頭部がずきずきと痛くなる/疲労が極限に達する	
⑯⑯吐き気がする/⑰⑰船酔いのように気持ち悪くなる	
⑰⑰息切れする/⑱⑱あれこれ考える暇もない⑲⑲猛スピードで	
⑲⑲空模様が崩れる/⑳⑳写真写りがいい	